

ご興味のある方のみ是非ご参加下さい

物流業の更なる成長を真剣に考える 社長必見のサポート

ラストチャンス

食品物流業 環境ビジネス新規参入手法公開セミナー ～環境サービス付加で、売上高3年で1億円をつくる手法を公開します～ 開催決定！！

さて、簡単ではありましたが、レポートを見ていただいたことで、なぜ食品物流業の企業様が環境ビジネスへ参入して方が良いのかご理解いただけたかと思います。しかし、このレポートに書かせていただいた内容はほんの一部です。

そこで

- 環境ビジネスに是非参入してみたい
- もう少し環境ビジネスについて知りたい
- 具体的なネタについて詳しく知りたい

という企業様を対象にセミナーを開催させていただきます。

開催日は、

東京会場：平成22年9月6日(月)、大阪会場：平成22年9月28日(火)

となります。

参加者定員は、会場の関係上、**各会場30名様**のみ。料金は、

一般企業1名様15,000円、会員企業1名様12,000円とさせていただきます。

現業に悩む中、何か新しい、そして市場性も高く、本業にも良い影響を与えられるであろう環境ビジネスを始めて、成功へ繋がることを考えれば決して高い額ではないと思えます。

当日は、意識の高い経営者様とお会いできることを心より楽しみにしております。

株式会社船井総合研究所
第三経営支援部

下川 謙

講座/時間	講座内容	講師
第1講座 13:00～14:00	食品物流企業が環境ビジネスに取り組む方法！	㈱船井総合研究所 第三経営支援部 シニアコンサルタント 橋本 直行
第2講座 14:10～16:10	食品物流企業のための儲かる環境ビジネス具体策紹介	㈱船井総合研究所 第三経営支援部 経営コンサルタント 下川 謙
第3講座 16:20～16:50	食品物流企業の環境ビジネス参入のステップ	㈱船井総合研究所 第三経営支援部 シニアコンサルタント 橋本 直行
16:50～17:00	質疑応答・振り返り	
17:00～	無料個別経営相談	

料金後納
ゆうメール

ラベル

食品物流企業だから 新規参入できる 環境ビジネスがあったとは！？

食品メーカー・食品工場・セントラルキッチンだからこそ提案できるネタがある

食品関連の配送をメインにするある物流会社様

既存荷主に廃棄物や省エネに関するサービスを提案したところ、悩んでいたということで、解決して欲しいと依頼があった。

そして、もう1社に同じような提案をしたら、やはり依頼が・・・

この物流会社は何を提案したのか？

ちなみにこの物流会社は、これまで廃棄物や省エネに関してはまったく知識がなかった会社です。

というより廃棄物や省エネに関しては、自分の会社には関係ないと思って、興味がなかった会社です。

なぜ、この物流会社が興味を示し、環境ビジネスを始めることになったのか？

めくってみて下さい！

「食品物流業 環境ビジネス新規参入手法公開セミナー」開催
平成22年9月6日(月) 13:00～17:00 東京会場 船井総合研究所 五反田オフィス
平成22年9月28日(火) 13:00～17:00 大阪会場 船井総合研究所 大阪本社
会場の都合上、先着30名様のみとさせていただきます。お急ぎ下さい！

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-6 日本生命丸の内ビル21階 TEL:0120-945-660 FAX:0120-974-222
●申し込みに関するお問合せ:市川(健) ●内容に関するお問合せ:中口(03-6212-2931)

(株)船井総合研究所 〒100-0005東京都千代田区丸の内1-6-6 日本生命丸の内ビル21階 TEL:03-6212-2931 FAX:03-6212-2947

<差出人>L-NET Co.,LTD 〒550-0004 大阪市西区鞠本町1-10-24 <返還先>L-NET郵送事業局(〒555-8691) 私書箱3号DMD

物流企業様が考えることっておそらく・・・

「新規に環境ビジネスの展開なんて、ウチには無理だよ・・・」

経営者のあなたがそうおっしゃる気持ちはよく解かります。

物流業界はもともと新規の取り組みが苦手な企業様の多い業界です。現業部門でとても優れた現場運営能力や、ドライバー品質などを持ちながら、「新たな展開ができない」という企業様も多いでしょう。

また、これまでの新たな取り組みは、「荷主から言われたから」という企業様も少なくないと思います。しかし、近年の物流の高度化、荷主企業のコスト削減提案に対する期待度の増大に対応するためには、業界にとって“提案力の強化”、“環境の切り口”は急務であるといえます。

物流企業の環境サービスの新規展開が難しい理由は、以下の2つでしょう。

1. 社内にノウハウがない
2. 環境関連で荷主企業に刺さるネタがない

これらのうち、1は正直言って、強化するには相当労力と時間がかかります。しかし、2は、実は早期に解決可能な課題なのです。

なぜ、食品物流企業が環境ビジネスなのか？

「食品メーカー・食品工場・セントラルキッチンに提案できるネタはいっぱいある！」

食品メーカー・食品工場・セントラルキッチンでは、様々な廃棄物が発生し、**多額の処理コスト**が発生しています。

そして、製造工程で大量のエネルギー(電気・ガス・燃料)を使用し、**多額のエネルギー使用料**を支払っています。

食品メーカー・食品工場・セントラルキッチンでは、この2つのコストをどうしたら削減できるか？課題を抱えており、解決できるネタ、削減できるネタを探しているのです。

更に、食品メーカー・食品工場・セントラルキッチンが対象になる法規制があります。

それが、**食品リサイクル法・省エネ法**です。

- ※食品リサイクル法：食品廃棄物のリサイクル率を義務づける法律
- ※省エネ法：エネルギー(電気・ガス・燃料など)の消費を減らすための法律

この2つは、ともに近年改正され、規制が強化されました。

つまり、食品メーカー・食品工場・セントラルキッチンにとっては解決しなければならない問題が山積みなのです。

だからこそ**食品関連企業と取引がある食品物流企業様は、提案できるチャンスがいっぱいあり、新規参入できるチャンスなのです！**

環境関連で荷主企業に刺さる具体的なネタとは？

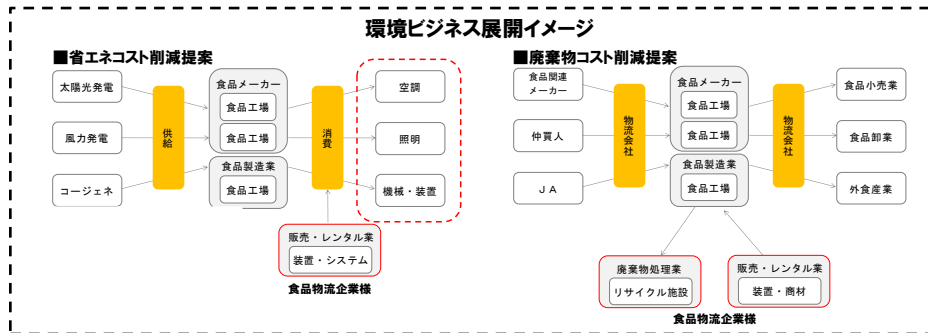
これから紹介するネタは、食品物流企業様にとって取組みやすいネタであり、食品メーカー・食品工場・セントラルキッチンにとって刺さるネタです。その一部を紹介すると・・・

- ①汚れた廃プラスチック容器・袋を高速洗浄！すべて有価物化する廃プラ洗浄機によりリサイクル化！
- ②食品残渣、残飯(生ゴミ)を 24 時間で液体肥料化！農家と組んでリサイクル野菜を還元！
- ③改正省エネ法対応！食品工場のエネルギー使用量を管理代行し、削減提案するソフト！
- ④従来のデマンドコントローラーを超えた！新デマコンで、電力使用法をコンサルティング！
- ⑤汚泥削減に発揮する腐植土を用いた微生物活性化システム

書ききれません・・・。

これらのネタを単品ごとに提案するのではなく、『工場向け廃棄物・エネルギー診断』を仕掛けて実態を把握し、“環境先進物流企業”として、複合的に提案しましょう。

低投資のプラント・機器を持って、管理・運用代行の長期契約を提案するのです。



絶対に損はさせません・・・というか、どこをどう転んでも損のしようがないセミナーです。

このノウハウを知らずにいることは、1万円札にライターで火をつけて燃やしているのと同じことです。全部燃え尽きないうちに、今すぐスケジュールをご調整ください。

すぐに埋まってしまうことが予想されますので、のご案内をご覧になってから3日間以内に返信されることをおすすめします。